

大切な自然を火災から守ろう！

五月に入り全国的に山火事が多発し、住宅などにも延焼する被害も発生しています。

春先は空気が乾燥する日も増えるほか、登山や山菜採りなどで山への人出が増えるため、林野火災も多くなる傾向にあります。

大切な自然や貴重な人命・財産を火災から守るため、屋外での火気の取扱には十分気を付けましょう。



(対策)

- ・ 枯れ草など、燃えやすいものがある場所では、たき火をしない。
- ・ たき火の場所を離れる時は、完全に消火する。
- ・ 強風注意報や乾燥注意報などが発表されている時は、火気の使用を差し控えるとともに、強風時には、たき火、火入れをしない。
- ・ たばこの吸殻は必ず消すとともに、投げ捨てをしない。
- ・ 火遊びをしない。



ちょっとした火の取扱いにも十分気を付けて、必ず水バケツや消火器などの準備を怠らず、火災にならないように注意してください。

平成 29 年山火事予防運動 統一標語
『火の用心 森から聞こえる ありがとう』

嶺北消防組合